



新春

けんこう

No.481
2013年1月号
(2012年12月合併号)

2012年11月30日現在
組合員数 37,976人
出資金 1,018,452,755円
発行責任者 生協広報委員会

広島中央保健生活協同組合

編集部連絡先

〒733-0031 広島市西区観音町16-19

電話(082)532-1264(代)・FAX(082)532-1267

ホームページ
アドレス <http://www.hch.coop/>

「けんこう」は古紙を配合した紙を使用しています。

健康こそが宝 子どもたちに明るい未来を



11月17日に開催された、子育て応援企画第4回「大丸ロケッツコンサート」の様子です。

新年のご挨拶

広島中央保健生活協同組合
理事長 吉富 啓一郎



謹んで新年の挨拶を申し上げます。原稿を書いているときは、総選挙の真っ只中です。憲法改正、消費税増税、TPP、原発を含むエネルギー政策などを争点に激しい選挙戦が展開されています。今回の総選挙は今後の日本の針路を決める選挙です。私たちの命と暮らしを守ってくれる政権が誕生することを願わずにはいられません。

さて、当生協に目を転ずれば、これまた、課題が山積みしています。新年にあたり、私たちの英知を集めて解決していかなくてはと決意を新たにしているところです。それは言うまでもなく、第五次長計をやり抜くことです。この10年、生協さえき病院建設、生協けんこうプラザ建設をやりきりました。いよいよ福島生協病院の新築移転に取り掛かります。基本設計が終わり、これからは実施設計策定、そして建設着工、竣工、病院開院(2015年5月予定)となります。福島生協病院の建て替えは私たちの10年来の切なる願いでした。やっとその機会が到来しました。超高齢社会に対応した病院を建設したい、なんとしてもやり遂げたい。

紙面の一案内

2面：新年のごあいさつ／みんなで作った新病院基本設計大発表会／新病院建設スケジュール
3面：口腔ケアでインフルエンザを予防しよう！／医療福祉生協の「いのちの章典」づくりに参加しよう／無料法律相談のご案内／被爆二世健診／わがまち散歩(広島市郷土資料館)／支部ニュースづくりのポイントを学びました！

心の窓

師走になると街は華やき、心が浮き立つ。ジングルベルが流れ、デパートや商店街はクリスマス・年末商戦で活気にあふ

れている。デパートの地下をのぞくと平素より豪華な食料品が並び、食欲と購買意欲をそそる。調理済みの惣菜や弁当も種類豊富に並んでいる。お節料理も豪華なものがそろっている。中には、一流料亭やホテルの作る驚くほど豪華で、高価なものもある。各家で作るのが当たり前だった時代は、はるか昔になってしまったようだ。

弁当や調理済み惣菜はデパートだけでなく、スーパー、コンビニなど身の周りいたるところで売られている。調理の手間をかけずに食事ができる。便利な世の中になったものだ。

便利さを求める消費者の要望にこたえて店頭に並ぶ調理済み食品は膨大な量だ。しかし、多くが売れ残って廃棄されている。無駄になるだけでなく、ごみ処理のコストまでかかっている。わが身を振り返っても便利さを求め、食品を粗末にしてしまっている。

世界には飢餓に苦しむ国がある中で、こんな資源の無駄遣いをしていくことに心が痛む。日本にはモノを大切に「もったいない」という素晴らしい文化があった。それが失われてしまったのが悲しい。

(KAZ)

2013年
(平成25年)



新年のごあいさつ



福島生協病院

病院長 田代 忠晴

新年明けましておめでとうございます。いよいよ、本年末には新病院の建設が始まります。基本設計も終

わり、新病院の姿が見えてきました。多くの組合員さんや役職員の知恵と力でここまで来ましたが、2015年・5月のオープンに向け、まだまだ多くの難関があります。基本設計には全職員が関わり、医療活動を軸に想像力と夢の力を發揮して練り上げてきました。今後さらに詳細設計に入ります。

組合員さんの思いをできるだけ取り入れた病院に仕上げていきますので、どんなご意見を下さい。医療構想として、超高齢化社会の中で地域医療に全力で取り組む中



生協さえき病院

病院長 福山 慎二

明けましておめでとうございます。昨年は改装工事をおこない健診

ルームを作りました。専用のレントゲン撮影室も作り一般外来患者さんとは別の場所で健診を行えるようになりました。ちよつと狭いのですが落ち着いて健診をご利用いただけるようになったと考えています。また、CTを入れ替え、院内レントゲン画像配信装置を導入など、より安心して受診、ご利用いただけるよう、医療機器の更新などを行いました。

引き続き職員の質の向上に努め、組合員の皆様、地域の皆様のお役

小病院の果たすべき役割を提起してきましたが、様々の方々の検討でさらに進化しています。現時点で端的に言えば「在宅療養・介護を支え、高齢者救急医療を核とした地域の総合的な医療要求に可能な限り応える、医療生協の力みながら、地域のかかりつけ病院」ということになるかと思えます。在宅医療の取り組みや、回復期リハビリ病棟の新設などが特徴です。そして保健生協として、健康づくりの地域の拠点としてさらにパワーアップします。力を合わせて素晴らしい病院をつくっていききたいと思えます。よろしくお願ひします。

に立てるようがんばります。

高齢者の人口が増えつつあり、医療介護を必要とする方が増加してきています。75歳以上人口は2000年には900万人ですが、2010年1400万人、2020年には1900万人となることです。医療と介護の連携なしには対応できない状況です。一極集中ではない事業規模の拡大など、医療生協として医療介護のニーズにより応えるために何ができるのかを、組合員の皆さんと一緒に考えて行きたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

みんなの思いをひとつに！ みんなで作った新病院基本設計大発表会

12/8(土)に「みんなで作った新病院基本設計大発表会」を開催しました。当日の参加者は組合員47名、職員47名、合計94名でした。

基本設計は「ほぼ完成」ということで報告会を行いました。今年中の「完了」を目指しています。

「9/1スタート集会」や「もしもPJ」を経て皆さんの意見がどのように設計に反映されたか、また医療構想(石橋副院長)、看護部方針(岡田総看護師長)、回復期リハ(竹本科長・村田主任)について説明を行いました。参加者からは建設的な意見をたくさんいただきました。また医療構想に関してすばらしい提言をいただきました。

「もしもプロジェクト」をはじめ、「増資プロジェクト」、「地域訪問プロジェクト」や「建設けんこうまつり」など、今後の建設運動をみなさんの思いをひとつにして、大いに盛り上げていきましょう。

「コープ五日市診療所 所長 佐々木先生の発言」

「在宅診療所にとって、連携する病院から「いつでも入院受け入れできます」「なんとかします」と言われることがどれだけ心強いかわ！それがあれば在宅での看取りができるんです。福島生協病院がそのような病院になれたらいい。その視点があれば新病院建設は必ず成功します！私も頑張ります！」

「角田副理事長」

「組合員自身が自分の言葉で新病院を語り、建設運動を盛り上げていこう！」



新病院建設スケジュール

2012					2013					2014					2015									
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
基本設計期間																								
					実施設計期間																			
										確認申請														
										業者入札・契約														
										2013年12月着工					2015年2月竣工									
															2015年5月1日オープン(予定)									
															工事期間(1年2か月)									

どなたでもご参加ください

第3回もしもプロジェクト

「誰にでも簡単！新病院の特徴まるわかり編」

◆日時：1月31日(木)13:30~15:30

◆場所：生協けんこうプラザ 5階

【プロジェクトの中身】

- まるわかり！地域医療連携について
- まるわかり！回復期リハビリテーションについて
- 「かんたん まるわかりパンフ」づくり



被爆二世健診の申込期間がまもなく終了します お申し込みがまだの方は、お早めに!

広島市や県では、原爆被爆者二世の健康管理に役立てていただくための健診制度を設けています。当法人の病院・診療所でご受診いただけますので、ぜひ、ご活用下さい。

- ◆申込期間：平成25年1月11日まで (消印有効)
- ◆実施期間：平成25年2月28日まで

- 申込方法 申込専用はがきで、市役所または県庁へお申し込み下さい。申込専用はがきは、福島生協病院 健診センター(2階)、外来受付(1階)でも取り扱っています。お気軽にお申し出下さい。区役所や公民館などでも設置されています。
- 健診内容 血圧、検尿、貧血検査、肝機能検査、脂質検査、糖代謝など
- 費用 無料 (受診にかかる交通費は支給されません)

お問い合わせは、下記まで

福島生協病院健診センター ☎(082)292-3215
 生協さえき病院 ☎(082)926-4511
 草津診療所 ☎(082)272-8665
 五日市診療所 ☎(082)924-0608



口腔ケアで インフルエンザを 予防しよう!

寒い冬が到来し、インフルエンザの流行する季節となりました。高齢者の口腔ケアがより一層大事な時期です。

インフルエンザは口腔ケアでの予防が可能だと言われています。口腔ケアでインフルエンザの発症率は1/10にもなります。

またみなさん一度は耳にしたことがあると思いますが、誤嚥性肺炎の発症も40%予防できます。誤嚥性肺炎とは病気や加齢などにより飲み込む機能や咳をする力が弱くなり、口腔の細菌や逆流した胃液が誤って気管に入りやすくなり、その結果、発症する肺炎のことです。寝ている間に発症することも多く、高齢者では命にかかわるケースも少なくない病気です。

「おいしい食事」「楽しい会話」は、毎日をいきいき過ごすためにもとても大切で、そのすべての入り口がお口なのです。お口の健康は体の健康だけでなく心にも直結する大切なものです。

高齢者社会が進んでいく中で、歯科の往診の必要性がより一層高まってきています。私たち生協歯科ひろしまでも高齢や寝たきりの方など通院が困難な方への歯科往診を行っています。口腔ケアや入れ歯に関する治療を主に行っております。何か気になることなどあれば気軽にご相談下さい。 生協歯科ひろしま 歯科医師 松井智子

資料館は初めて行く人でもすぐわかります。広大な敷地の中に特徴のある赤レンガ造りの大きな建物。それととりかこむ緑の木立があります。レンガ造りの建物は明治44年(1911年)に完成しました。その後、昭和19年(1944年)空襲にそなえて機械の疎開が行なわれるまで缶詰工場として主に牛肉缶詰の製造が行われていました。

資料館内に当時の缶詰製造のようを写した写真を掲示してあります。白エプロン姿の女性が作業台に向かっている様子が見えます。その人数が作業台ごとに10人以上群がって仕事をしていたので、作業が自動化されてなく人手

わがまち散歩

10

●広島市郷土資料館 (旧陸軍糧秣支廠建物)

広島市指定重要有形文化財
広島市南区宇品御幸2丁目6番20号
(爆心地から3,210m)

にたよっていたことがわかります。資料館の中には、戦争以前の広島農具、漁業の仕事がわかる釣り道具、漁船、その他いろいろな資料を展示してあります。

資料館は明治44年(1911年)に完成し昭和20年(1945年)の被爆にも耐え、平成24年(2012年)現在もお現役として働いているのはえらいものです。建築より101年。旧日本軍の施設で現在も使用されている事例は広島県内にもいくつかあります。

どの施設も、敷地を広く取ってあり、建物、構造物はとても頑丈に作ってあることを感じます。実物をご覧になることをおすすめします。



医療福祉生協の「いのちの章典」づくりに参加しよう

10/31(水)「医療福祉生協のいのちの章典(案)講演討論会」を開催し、73名の参加がありました。

医療福祉生協連副会長理事の藤原高明先生(医療福祉生協連副会長理事・香川医療生協理事長)をお招きしました。



会場の様子

「医療生協の患者の権利章典」が誕生した当時の社会情勢や20余年が経過した現在の患者・利用者、地域、くらし、医療、介護、福祉を取り巻く環境の変化など、いのちの章典をつくる経過と案文に込められた思いをお話し頂きました。

当生協でも、事業所利用委員会を中心に地域や職場等で論議しています。講演会後の全体討論では、地域や職場の論議の中で出た率直な質問や意見が出され、藤原高明先生から補足の説明や全国から集まっている様々な声を紹介して頂きました。

今後、地域・職場での学習や論議を広げ、意見を出しあい、全国の仲間と一緒に生協をいのちに活かすかたちである「章典」づくりに参加しましょう。

班会や支部などで楽しく討論できるようにと、紙芝居も用意してあります。ぜひご活用ください。



講演をされる藤原先生

お問い合わせは組織部まで ☎(082)532-1264

支部ニュースづくりのポイントを学びました!

10/30(火)、支部のニュースをつくっている方、ニュースづくりに興味のある方を対象に「支部ニュースづくり教室」(主催:生協広報委員会)が開催され、22名の参加がありました。

中国新聞社にお勤めだった沖田さん(生協広報委員)を講師に支部ニュースを作るにあたってのポイントについて学びました。

後半は、各支部ニュースを見比べながら支部ニュースをつくらせての悩みや情報交換を行いました。グループ討議の話で「1人で作っているのでマンネリ化してしまう」「記事がなかなか集まらない」「他の支部のニュースを見て、おなじ悩みを抱えている人の話が聞けて良かった」などの意見が出されました。

また広報委員会でのこのような企画ができるように考えていきたいと思ひます。



無料法律相談のご案内

毎月1回、福島生協病院医療相談室にて弁護士による無料法律相談(お一人30分程度)を行なっています。何かお困りごとがおありの場合は、ぜひご相談下さい。

事前の予約が必要となりますので、下記のお問い合わせ先までご予約をお願いします。

■今後の日程：毎月第3(土)を予定しています。

2013年1月は19日(土)10時半です

お問い合わせ先 福島生協病院 医療相談室 ☎(082)292-3171(代)

組合員の声

クロスワードパズルの答えいっしょにお寄せいただいた声です。

○大腸がん検診を毎年受けています。いまのところ私は「良」ですが、預かっている分の中から、2名の方にガンが見つかり手術されました。今年もみなさんと受けますね。

○新病院建設、今から楽しみにしています。が、まず組合員ふやしと増資を

○最近がん検診の大切さにより強く感じるようになりました。生協病院の活動に期待しています。

がんばらないといけません。

○長年馴れ親しんだ生協の住所が新しくなり、みなの新病院ができるという感慨が一層強まります。健康づくりにも励みたいと思います。

生協広報委員会では、引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ぜひ、声をお寄せください。

10月 理事会より

【協議事項】

○9月度の経営概況は単月で赤字に陥った。今年度4度目の赤字となった。

○財務予算の執行について経鼻内視鏡の購入と看護師募集パンフレット作成について承認した。

○看護部人事について11月より福島生協病院岡田総看護師長を副看護部長兼務とすることを承認した。

【報告事項】

○生協強化月間の取り組み状況について手配り協力者探しの組合員訪問やサロン班の取り組み、班づくりの取り組み報告があった。

○大腸がん検診月間のとりくみ準備について報告があった。

○健康づくり委員会より12月17日健康チェック講座のお知らせがあった。

○社保平和委員会より被災地福島支援カンパ要請の検討経過について報告があった。

○生協利用委員会より12月12日患者の権利章典実践交流会への参加、いのち

11月 理事会より

【協議事項】

○10月度理事会で提案された組合員活動協議会設置および(仮称)8億円増資プロジェクトと(仮称)支部づくりプロジェクトの設置について承認した。

○当生協労働組合からの要求に対する回答について承認した。

○福島生協病院の財務予算

の執行について承認した。

○10月度組合員・出資金動向として、今月中に昨年度の純増額3,800万円に近づく見込みであるとの報告があった。

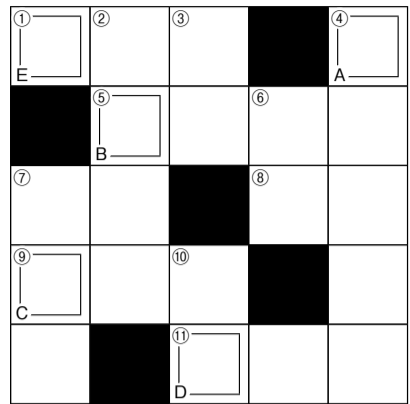
○2012年度生協強化月間の取り組み状況について報告があった。

○経営改善のとりくみについて報告があった。

○顧問公認会計士による上半期調査について報告があった。

○日本医療福祉生協連による当生協施設拡大検討会の指摘事項について説明があった。

クロスワードパズル 第127回



答え=A□ B□ C□ D□ E□

○応募方法
二重マスのA〜Eを順に並べるとある言葉ができます。答えをハガキに記入して、生協組織部までお送りください。答えの他に、広島中央保健生協へのご意見、お気持ち、生協活動に対する提案をお寄せください。「組合員の声」として「けんこう」に掲載させていただきます。正解された方の中から抽選で五人の方に図書カードを贈ります。ハガキ以外に、ファックスや電子メールでも応募できます。なお当選は発送をもって代えさせていただきます。

＝前々回の答え＝
第125回10月号
「ジネンジヨ」

締切日=1月31日(当日消印有効)

宛先=〒733-0031
広島市西区観音町16-19
広島中央保健生協・組織部
FAX=082-532-1267
Eメール=soshikibu@hch.coop

【タテのカギ】

- ②日本最南端の県。
- ③割合。成功する○○の高い実験。打○○。
- ④競技などで第1位になること。
- ⑥カーブ
- ⑦鳥がはばたく音。
- ⑩物事の道理や考えや話などの筋道のこと。
- 整然。

【ヨコのカギ】

- ①本の間などに挟む目印。
- ⑤力などほぼ同等のものどうしが、互いに張り合い優劣のないこと。
- ⑦○○より団子。
- ⑧○○の強い人。○○を貴く。
- ⑨始め○○○○
- ⑪道のほとり。みちばた。



2013

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

(東区・とし子)